

議事概要							報告者	前田				
会議の名称		令和5年度第2回大府市多文化共生推進委員会										
日時		令和6年2月2日（金）17時30分～18時45分						場所	会議室001			
出席者	推進委員	松宮 委員長	大嶋 委員	岡田 委員	竹内 委員	嘉無木 委員	二村 委員	永田 委員				
		○	○	○	○	○	○	○				
	事務局	山内 副市長	近藤 部長	田中 課長	小林 係長	久野 主査	CIR アダム	主事 前田				
○		○	○	○	○	×	○					
内 容（要点記録）												

議事進行：松宮委員長

傍聴人：なし

1 委員長挨拶

2 議題

(1) 大府市における在留外国人の推移について

(委員長) 「資料1」の大府市国籍別在留外国人数の一覧表を見ると、ブラジルの比率が減っているように感じるが、実際には高齢化が進んでいる。分析のために国籍別年齢別データが知りたい。

福祉・社会保障の観点からも国籍別年齢別のデータは必要である。

(事務局) 国籍別年齢別のデータ作成は可能であるため、今後対応する。

(2) 大府市多文化共生推進プラン3の進捗について

(委員) 「資料2」の「ウ 外国人総合窓口での多言語支援サービスの提供」において、今年度の実績と令和2年度の実績を比べると、大幅に窓口相談件数が減少しているが、何か理由はあるか。

(事務局) 令和2年及び3年は、新型コロナウイルスの関係でワクチンや給付金を始めとした多くの相談があったが、新型コロナウイルスが落ち着きを見せたことに伴い、相談件数も減少したことが主な理由である。

(委員) 窓口に通訳員はいるか。

(事務局) 毎週水曜日にポルトガル語、月に1度ベトナム語と中国語の通訳員がいる。また、通訳員が居ない際にはテレビ電話通訳システムを使用して対応している。

(委員) 市営住宅における居住者の国籍別割合が知りたい。

(事務局) 後日データを用意し、対応する。

(委員) 外国人が市営住宅に入居しようとする、入居条件等が外国人にとって厳しい場合

が多いため、現状では県営住宅の方が入居しやすいと感じる。

- (委員) 「資料2」の9ページに記載のあるプレスクールの実績について質問がある。
追分と柘山で計10回実施と実績に記載があるが、他の園では応募が無かったのか。
- (事務局) 現状では、市内全園において実施することは難しいため、市内公立保育園全園を対象に募集を行い、実施会場を追分と柘山の2園とした。
- (委員) 特に重要な施策対象は未就園児だと考えているが、どうだろうか。
- (事務局) 来年度以降の施策に未就園児も取り込むことができるよう保健センターと協力し未就園児の状況の把握に努めている。
- (委員) 年末年始のゴミ出し状況をSNSに掲載するため、市の公式ウェブサイト調べたら、和暦の自動翻訳が正しい西暦表記に翻訳されていなかった。
- (事務局) 対応として、和暦と西暦の併記を庁内に周知してあるので、今後改善されると思う。
- (委員) 11ページのほとんどが「多文化交流」に関わるものであるため、「①多文化共生意識の醸成」を「①多文化交流」にしたらいいと考える。そして、係の名前は、現在の「多文化交流係」から「多文化共生係」に変えたらよいと考える。
係やプランの目的は「多文化共生」であり、「多文化交流」はその目的を達するための目標の一つである。
- (事務局) 「多文化共生」の定義の捉え方について、再びプランの改定が行われる際には委員の意見も取り入れて作成する。

(3) 令和5年度日本語初期指導教室について

- (委員) 日本語初期指導教室の場に、こどもの母語が分かる人はいるか。
- (委員) いない。母語指導員は日本語初期指導員とは別で派遣している。
- (委員) 日本語初期指導員の派遣と併せて、母語が分かる人の派遣も一緒に行うと良い。
- (委員長) 専門家ではない人が日本語を教えると、母語は使用させず、日本語の使用のみを指導する場合があります、問題となっている。しかし大府市の場合は、専門の日本語初期指導員を派遣しているため、母語を蔑ろにする問題は起こりづらいと考える。
しかし母語指導は大切な施策の1つであるため、今後も進めていただきたい。
- (委員) 母語が分かる人が必ず必要というわけではないが、いたらいいと思う。
日本語初期指導員は、日本語を外国語のように教えなければならない。
母語は獲得であり、第二言語は習得にあたる。
子どもの本音や相談を的確に理解するためにも、母語が分かる人の派遣は重要である。
- (委員) 日本語初期指導教室に通う人は、日本語が全く分からない人が多いのか。
- (委員) 受講生の中には全く分からない子どももいる。
- (委員) 指導期間の1期が終了し、日本語が不十分な場合、2期も継続して実施するのか。
- (委員) 指導員が受講生の様子を見つつ、生徒に応じた指導の必要性を適宜判断している。
- (委員) 中学生になると、勉強内容のレベルも上がり、日本語能力が不十分な場合は授業に付いていくことが難しくなる。どのレベルまでを目標に日本語初期指導教室で習得させるか検討の余地があると考えます。
- (委員) 日本語初期指導教室を受講した成果が「資料3」の2ページに掲載されているが、

こどもの保護者からの感想も知りたい。自分のこどもが日本語を習得する過程を見て、母語についての不安もあるかもしれない。もしそういった意見があるならば、先ほど竹内委員が提案した母語カウンセラーの必要性が現実的に議論できるのではないか。

(4) 「令和5年度就学前学習支援（プレスクール）について

(委員) 概要の欄に目的を記載すると良いのではないか。

(事務局) 次回以降対応する。

3 その他

(委員) 前回に引き続き、独自に調査し、アンケートを作成した。

「副市长にお時間をいただけたら何を伝えたいかPart2」である。

テーマは「大府市の褒めたいところ」と「大府市に改善を期待しているところ」である。

「大府市の褒めたいところ」は、「コロナ渦では早く給付金を支給したこと」「支援やサポートが沢山ある」「市役所にタブレットを使った通訳がある」「外国人も参加できる事業がある」「障がいを持つこどもや、高齢者向けのサポートがある」「複雑な内容を理解するための通訳員のサポートがある」「新しい給付金や補助金を理解し、使用するための通訳員のサポートがある」「市内に公園が多い」「証明書のコンビニ交付が便利である」「大府市は住みやすい」「会社が沢山あり、仕事探しやすい」「北山小学校の場合、ランドセルの使用と帽子の選択が自由なところ」である。

「大府市に改善を期待しているところ」は、「クリアンサの会の実施回数が少ないところ（回数が増えるなら有料でもよい）」「タイヤやホイールなどのゴミ収集が有料」「粗大ごみの無料収集がない」「教科書のリユースを進めて、ごみを減らすとよい」「スプリングマットレスなど、捨てる際の分解が手間である」「税金が高い」「暗い道に街頭を増やしてほしい」「状態の悪い歩道をしっかりと整備してほしい」「道が狭く、渋滞が発生する箇所がある」「おおぶの水などの大府市産のものは、市がPRし、管轄の施設で販売するとよい」「大学への進学サポートがない」「日本語が不自由な外国人へのサポートが足りていない」「通訳員の出勤日と時間が不十分である」「市役所に常駐する通訳員が必要だ」「病院等へ行く際に、市から通訳員を派遣してほしい」「多言語での日常生活、年金、行事、住民税の控除、日本語教室に関する情報提供が不十分だ」「自転車の人が、桃山町五丁目の交差点で横断に困る」「雨や寒い日にも使える公園や遊び場が必要だ」「所得の低い外国人のためにも、税金等を分割払い出来るようにしてほしい」「固定資産税は、給与天引き又は5回以上の分割払いを出来るようにしてほしい」「家の値段が高い」「学校でのいじめや、こどもがうつ病になるケースが増えているため、対策が必要だ」「学校にいじめ窓口を設置することや、いじめ対策の指導員派遣をしてほしい」「7歳

から15歳のこどもに、スポーツやスポーツ大会を推進するとよい」「梶田町・共和駅間のバスの運行回数が少ない」である。

- (委員長) 大府市では外国人に対する意識調査は行っていないので、貴重な成果である。記録として保管しておいていただきたい。他の自治体では、プラン策定の際に郵送で委員へのアンケート実施や、外国人に対する意識調査を実施しているところもあるので、次回のプラン策定時には検討していただきたい。
- また、アンケート内の「大府市に改善を期待すること」の中には、「学校でのいじめや、子どもがうつ病になるケースが増えているため、対策が必要だ」など、スクールカウンセラーや、スクールソーシャルワーカーの派遣が有効だと考えられる意見もあった。スクールカウンセラーなどが、どの程度対応できるかにもよるが、検討していただきたい。
- 竹内委員の資料も各委員に共有していただきたい。
- (委員) 大府市から発信される情報の周知において、外国人は「LINE」をあまり使用しない上、ホームページを見ることも難しいため、「WhatsApp Messenger」で情報を周知してはどうか。
- (委員) 昨年県営住宅の自転車整理が終了した。詳細は資料のとおりである。
- 自転車の防犯登録について、絵・図入りの分かりやすい説明書に防犯登録番号の記載も加え、集会所前で全体集会を行った。自転車登録届出書を提出してもらい、1人ずつチェックを行い、ようやく全世帯の登録が完了した。放置自転車が廃棄されてすっきりと片付き、自転車置き場周辺が見違えるようにきれいになった。
- 住環境を良くするという長年の1つの課題が解決した。